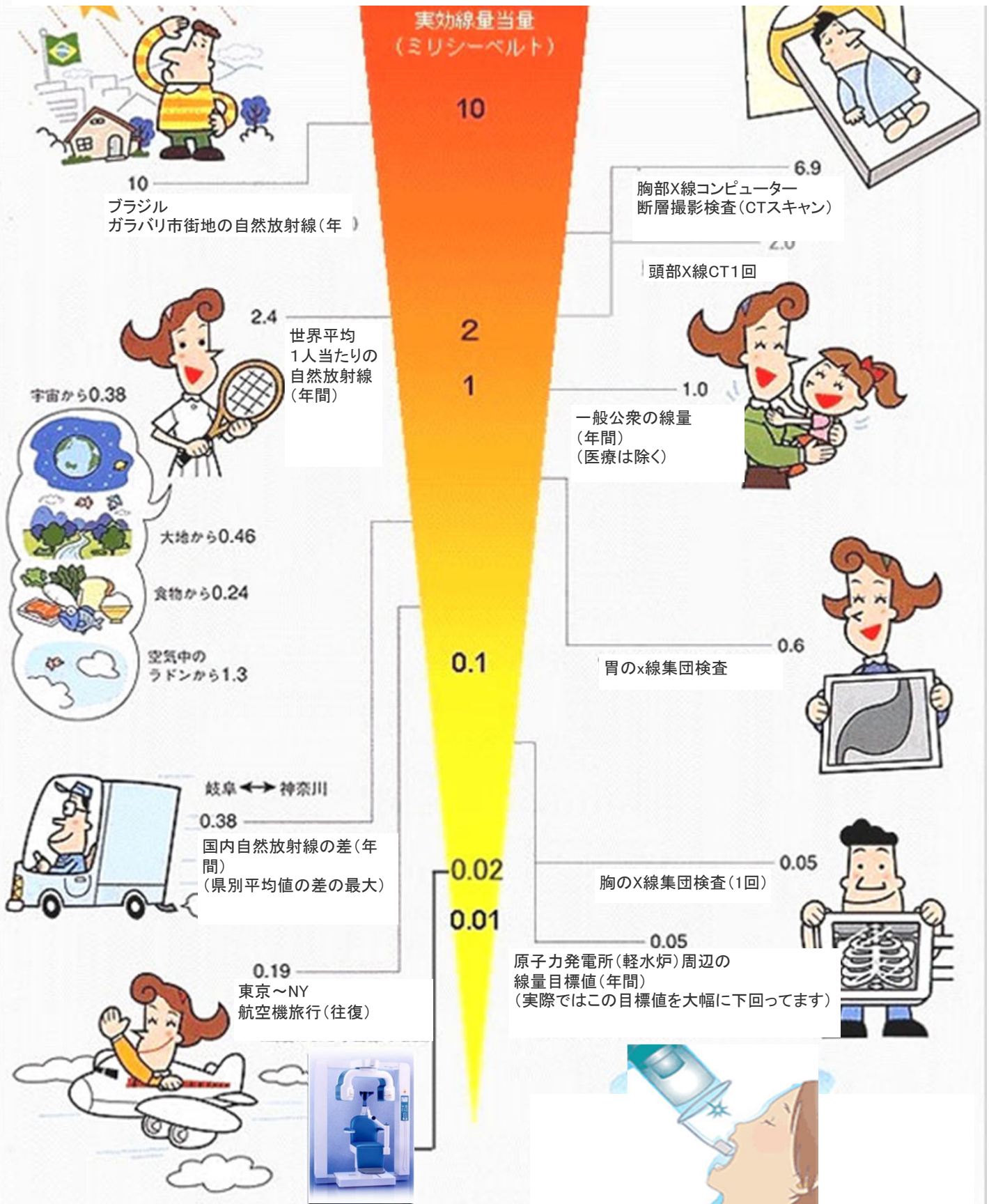


歯科用レントゲン・CTによる被爆について



(注1) 本図中の数値は

- (i) 実効線量当量で記載されている。
- (ii) 1993年版の国連放射線影響科学委員会報告に準拠している。

(注2) 自然放射線の量については、呼吸によるラドンの効果を含めた場合の値。

(放射線医学総合研究所調べ等による)

★デンタルX線装置=約0.016~0.04mSv
パノラマX線装置=約0.02~0.044mSv

